

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-3-3		事業名	交通ICカードの導入と活用
担当	総務局情報化推進部IT推進課プロジェクト担当 金田			
全体計画				
事業内容	公共交通利用を基盤としたICカードシステムを導入する。 平成20年度内を目途に地下鉄でICカードを先行的に導入するため、具体的な検討を進めているところであるが、以後、順次、民間バス事業者との共通化を推進するとともに、ICカードを利用した少額決済(電子マネー)やクレジット決済との連携のほか、地元事業者と連携した新たなサービスや行政サービスへの活用を可能とするような枠組みも整備する。 こうした取り組みを通じて、公共交通機関の利便性・快適性を高めるとともに、公共交通の利用促進と地域経済の活性化の相互作用を生み、魅力ある都市づくりを目指す。		<年度別の事業内容>	
			H21年度 ICカードの多目的利用に関する調査	
事業内容・量・場	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	交通局・民間バス事業者・札幌市による「札幌ICカード協議会」を設立し、カード名称・サービス内容等を決定した。		引き続き協議会において情報交換を行うとともに、今後のサービス拡大に向けた情報収集を行う。	
事業内容・規模・件数等	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)	
	ICカードの多目的利用に関する調査研究を行う。			

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	5-3-3		事業名	交通ICカードの導入と活用			
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
ICカードの商業、行政利用との連携枠組み検討	-	-	-	検討		検討 (21年度)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>							
評価(成果)			課題				
			市民へのICカードの普及に向けたサービス拡大の可能性についての研究が必要。				
今後の事業の予定・方向							
今年度実施する「札幌市公共交通ICカード(SAPICA)多目的利用に係る調査業務」において、市民に利便性を提供できるサービスのあり方と、必要となるシステムや機器の整備内容について検討する。							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		5-3-3		事業名	交通ICカードの導入と活用		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	0	0	5,000	0	5,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の他	0	0	0	0	0	
一般財源	0	0	5,000	0	5,000		
予算	事業費	0	0	5,000	-	5,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0		0	
	市の債	0	0	0		0	
	その他の他	0	0	0		0	
一般財源	0	0	5,000		5,000		
実績	事業費	0	0	-	-	0	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0			0	
	市の債	0	0			0	
	その他の他	0	0			0	
一般財源	0	0			0		
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				100.0%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度]							
[21年度]							